平成22年度

鹿児島県社会福祉協議会 事業報告・決算状況

地域における福祉ニーズは量的にも質的にも多様化してきており、制度の谷間にある課題への対応も含めて、公的制度・施策に基づくサービスだけではカバーしきれない分野の問題が顕在化してきております。

こうした諸課題に対応するため、地域福祉の中核的推進組織である県社協は、多様な福祉ニーズに的確に応え本県の地域福祉を推進するため、平成22年度の基本目標を次のとおり定め、また、県の新たな受託事業等も積極的に取り入れながら全力を傾注して参りました。

具体的な事業の中では、平成21年度から県社協独自の財源を活用し創設した「地域福祉推進基金」事業の積極的な推進をはじめ、福祉・介護人材確保のための「福祉・介護人材確保緊急支援事業」、「福祉・介護人材マッチング支援事業」及び「介護福祉士等修学資金貸付事業」、失業者や低所得世帯の方々を支援する「生活福祉資金貸付事業」での迅速・的確な対応、「福祉サービス利用支援事業」実施体制の再構築のほか、障害者の自立・就労への支援や高齢者の生きがい・健康づくり等に資する様々な事業に新たな視点も盛り込みながら積極的に取り組んで参りました。

また、県の緊急雇用対策事業の「公募型雇用創出促進事業」にも積極的に取り組み、雇用機会の創出に寄与したとともに、平成22年10月20日に発生した奄美地方集中豪雨災害では、県社協内に災害救援対策本部を設置し、災害ボランティア活動支援のための職員派遣を積極的に行いました。さらに、平成23年3月11日に発生した東日本大震災に迅速に対応するため、補正予算を編成し被災地に職員を派遣するなど支援を行いました。

基本目標

1. 地域福祉活動の推進
2. 障害福祉・高齢者福祉・少子化対策等，社会保障制度への的確な対応
3. ボランティア活動の促進
4. 福祉相談活動の推進
5. 社会福祉施設・団体の活動促進
6. 福祉サービスの利用支援及び苦情解決の推進
7. 福祉人材の養成・確保の推進
8. 生活福祉資金等の貸付制度の的確な運用と債権管理の推進
9. すこやか長寿社会づくり運動の推進

事業報告

Ⅰ 会務の運営並びに連絡調整等
1 役員会等の開催
2 関係機関・団体との連絡調整
3 自主財源の確保

Ⅱ 広報活動等の推進
1 福祉情報提供事業

Ⅲ 地域福祉活動の推進
1 地域福祉推進支援事業
2 県社会福祉協議会会長表彰事業の実施
3 「ねんりん基金」の設置
4 地域福祉推進基金の創設と事業の実施

Ⅳ 制度改正等対応市町村社協支援事業

Ⅴ 障害福祉相談体制整備特別支援事業・障害福祉人材育成研修事業

Ⅵ ボランティア活動の促進
1 県ボランティアセンターの運営
2 福祉教育推進事業
3 養成・研修事業
4 広報啓発事業
5 市町村ボランティアセンターの活動促進

Ⅶ すこやか基金による援助活動

Ⅷ 福祉相談活動の推進
1 相談センターにおける福祉相談業務の推進
2 福祉機器展示相談センターの運営
3 相談関係機関との連携及び相談体制の支援

Ⅸ 社会福祉施設・団体の活動促進
1 社会福祉振興資金の貸付
2 福祉施設経営指導事業
3 種別協議会の活動促進

Ⅹ 福祉サービスの利用支援及び苦情解決の推進
1 福祉サービス利用支援事業の推進
2 福祉サービス苦情解決事業の推進

Ⅺ 介護サービス情報の公表事業の推進
1 指定情報公表センターの運営

Ⅻ 福祉人材の養成・確保
1 社会福祉事業に従事しようとする者に対する養成等
2 福祉人材無料職業紹介事業
3 社会福祉事業従事者確保に関する支援等
4 福祉・介護人材確保緊急支援事業
5 福祉・介護人材マッチング支援事業
6 介護福祉士等修学資金の貸付
7 社会福祉事業従事者等研修
8 社会福祉事業従事者の福利厚生
9 県指定事業
10 教員免許介護等体験受入調整事業

ⅩⅢ 介護実習・普及センターの運営
1 介護実習・普及センター運営事業
2 介護業務従事者等研修の実施

ⅩⅣ 民生委員児童委員活動の充実強化
1 民生委員児童委員協議会活動への支援

ⅩⅤ 生活福祉資金，離職者支援資金等貸付事業の推進
1 総合支援資金，福祉資金，教育支援資金，不動産担保型生活資金及び離職者生活支援つなぎ資金の貸付
2 債権管理の強化

ⅩⅥ すこやか長寿社会づくり運動の推進及びふれあいプラザなのはな館の管理運営
1 すこやか長寿社会づくり運動の推進
2 ふれあいプラザ なのはな館の管理運営

ⅩⅦ 県社会福祉センターの管理・運営
1 県社会福祉センターの整備及び維持管理，利用促進等

ⅩⅧ 公募型雇用創出促進事業
1 高齢者等要援護者地域生活支援総合事業
2 安心子育てサポートモデル事業
3 地域ジュニアふれあい体験事業
4 企業体験・研修事業